

(様式1)

庄教教総第211号

令和6年3月22日

文部科学大臣 殿

広島県庄原市長 木山 耕三

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

庄原市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和4年度（1年間）

(担当)

庄原市教育委員会 教育部 教育総務課
吉岡 賢治

電話：0824-73-1186

E-mail：edu-kanri@city.shobara.lg.jp

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年3月4日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

各事業について、学校関係者や市役所内の工事担当部署と共に随時評価を行った。定量的には以下の指標に従って評価した。本施設整備計画の事後評価については、ホームページ上で公表する。

トイレ環境改善・・・洋式化率

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標を達成できた。

トイレ洋式化等工事が完了した学校において、便器の洋式化による現代の生活様式への対応、フロアの乾式化、手洗の自動水洗化、照明のLED化によるトイレ全体の衛生環境の改善により、児童生徒の学習環境の向上を図ることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

近年の生活様式の変化による家庭での洋式便器の普及などにより、学校施設においても便器の洋式化が求められている。また、避難所としての機能も有する学校施設は、多くの市民の利用が見込まれている。

現状、多くの学校施設において従来の和式便器が中心となっていることから、便器の洋式化を実施した。また、フロアの乾式化等を実施し、トイレ環境全体の改善を図った。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
板橋小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R4.9～R4.12	令和4年12月27日		
西城小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R4.10～R5.3	令和5年3月29日		
比和小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R4.10～R5.3	令和5年3月20日		
永末小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R5.6～R5.11	令和5年11月30日		
西城小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋	R	R5.3～R5.6	令和5年6月14日	R4→R5へ繰越	
高野小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R5.6～R5.11	令和5年11月28日	R4→R5へ繰越	
高野小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋	R	R5.6～R5.11	令和5年11月28日	R4→R5へ繰越	
総領中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R5.6～R5.10	令和5年10月11日	R4→R5へ繰越	
西城中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	R5.7～R6.3	令和6年3月4日	R4→R5へ繰越	
西城中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋	S	R5.7～R6.3	令和6年3月4日	R4→R5へ繰越	